

会 議 録

会 議 名		小金井市図書館協議会 第6回	
事 務 局		図書館	
開催日時		平成 21年3月27日(金)15時00分～17時30分	
開催場所		小金井市立図書館 本館 地下集会室	
出席者	委員	荒井 容子 浦野 知美 兼森 順子 川口 真理子 君川 恵子 野垣 成恵 矢崎 省三 山口 源治郎	
	欠席者	松尾 昇治 渡辺 一雄	
	事務局	渡辺生涯学習部長 田中図書館長 安居庶務係長 樺沢奉仕係長 上石主査 三田村主事 藤木主事 川口主事	
傍聴者の可否		可	傍聴者数 2人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第		<p>1 議題</p> <p>(1) 「図書館運営体制の見直し」について</p> <p>(2) 第2次小金井市子ども読書活動推進計画(素案)について</p> <p>(3) その他</p> <p>2 報告事項</p>	

会議結果	
提出資料	(1) 行財政改革調査特別委員会審査結果
その他	

審議経過(主な発言要旨等)

田中館長	<p>平成20年度第6回図書館協議会を始めます。</p> <p>本日は矢崎会長が時間の都合により(1)「図書館運営体制の見直し」について終わった後、退席されるため(2)第2次小金井市子ども読書活動推進計画(素案)については、議事進行を職務代理の兼森委員にお願いします。</p>
矢崎会長	<p>それでは議題に入ります。</p> <p>まず、事務局より配布資料の説明を。</p>
田中館長	<p>行財政改革調査特別委員会審査結果と会長の資料の計2枚と事前に送付した第2次小金井市子ども読書活動推進計画(素案)です。</p> <p>まずは、行財政改革調査特別委員会審査結果だが、20陳情第29号で行財政改革調査特別委員会の調査事項に関連して図書館の人員配置・シフト・給与等の検証を求める陳情書が採択されている。内容としては、図書館本館・分館において適正な人員配置がなされているか、勤務体制はどうなのか、給与に関しての点で採択されている。</p> <p>会長からの提出資料及び第2次小金井市子ども読書活動推進計画(素案)については、議事に入り次第説明します。</p>
矢崎会長	<p>では最初に議題「図書館運営体制の見直し」についてです。</p> <p>配布した資料の説明をします。前回、全体会議の中では議事進行が難しいということで、山口委員、松尾委員、兼森委員と私でワーキンググループのような形で素案の叩き台をつくりました。</p> <p>第1回は2月2日に第2回は3月9日に田中館長を交えて行った。</p> <p>そこで、図書館協議会は過去4回の学習会を踏まえ、小金井市立図書館業務の一部または多くを民間委託、NPO、指定管理者とすることは好ましくなく、直営でやる努力をするべきであるとの方向にまとまった。</p> <p>理由としては</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①民間業者に委託した場合、契約した事項の業務しか行わず緊急を要する事態がおきても職員は委託職員に直接指導ができない。</li> <li>②委託職員の離職率は1～2年で2割ともいわれノウハウの蓄積ができない。</li> <li>③図書館の業務は経験が大切だが、短期間の職員では利用者の要望に答えることが困難。</li> <li>④カウンター業務を委託し、正規職員がカウンターの経験がないと選書の判断ができづらい。</li> <li>⑤業者委託の継続を入札した場合、継続の度に価格が下がり、質が下がるのが一般的</li> <li>⑥なによりも一度業者委託をしてしまうと、直営に戻すのは極めて困難となる。</li> </ol>

他にもあるがこれらが主要な理由となる。

ただし直営がいいと言ってもするためには予算、議会等があるため、方策を考えなければならない。

経費高いということなので限られた予算、員数の中でサービスを拡大するためには

①自動貸出機など機器の導入

②RFID(ICチップ)等機械化できるものは導入する

これら機械化により人員削減ができ節約できると考える。

③図書館システム見直しによる経費削減の努力

現在のシステムは高額だが、三鷹などで廉価版が出ている。ただし、今までのようにSEにお任せではなく、専門的知識のある職員が必要となるが検討の余地はあると思う。また、日本図書館協会による図書館システム「Next-L」の話もあるので検討していければと思う。

④文部科学省や図書館振興財団等の助成金を獲得する。

などが考えられるが、なによりも職員の関わりが必要である。

そこで、職員問題である。

市民要望や時代認識からも、サービスを拡充(開館時間の延長等)することは避けられない。そのためにある程度正規職員を減らして非常勤職員を増やすことはやむをえない。しかし、市が業者に支払う金は、非常勤職員に支払う賃金より高い。業者の見積段階では1人当たり2,000円を出す、実際の賃金は800円台である。

専門職としての司書制度を確立する必要がある。

小金井市の場合行政職から職員が来ており、専門職としての司書が運営するという体制ではない。図書館としては、計画的な司書採用を行わないと直営で運営するのは難しいと思う。そのため、司書職制度の確立を求めたい。

ついては正規、非正規問わず職員からも直営でやる方法を出してほしい。業者が今より安くいいサービスを行うと言っている現状では、現運営体制のままでは委託にならざるをえない。図書館を民間委託しないで直営でやる必要があることを、それが市民のためになると、存在感を示す必要がある。アピールをしていかないと市民は分からず、開館時間が長くなってかえって良かったと言われかねない。

また、市議会から委託化を強く進められているのが現状。市議会議員にも市立図書館がなければならないようになればと思う。

以上を松尾委員が以下のようにまとめて下さいました。

1、今後定年退職する司書3名については、減員・欠員とせず新規に司書採用を行うこと。

2、図書館サービスの拡大には、非常勤嘱託職員の増員を持って当てること。

3、図書館の業務の見直しを行い、返却図書を集配、返却処理、図

	<p>書配架作業の部分は委託により行うことができる。さらに、見直しを行う中で、委託可能な業務を抽出する。</p> <p>4、貸出し窓口に「自動貸出機」を設置し、図書館職員の負担軽減をはかる。同時に、利用者のプライバシーも守ることができる。</p> <p>5、開館時間の拡大については、費用対効果及び市民の利用度を考慮し、市民アンケート等による適切な時刻を導き出すこと。職員については、時差出勤により、週 40 時間、日 8 時間労働を確保することによって、オーバーワークを避け、超過勤務手当等増加もまねかない方法にすること。</p> <p>6、分室については、他市の状況を調査し、非常勤嘱託職員による運営をおこなうようにすること。</p> <p>7、正規職員、非常勤嘱託職員に他市の図書館の見学・実習等の研究の機会を保障し、図書館職員としての知識・機能の向上をはかれるようにすること。</p> <p>8、市民との協働の関係を築くようボランティアの活用も図ること。</p> <p>以上の理由から「図書館業務の委託」は、これからの小金井の図書館及び市民利用者にとって、好ましい方法ではなく、市が責任を持って直営で運営すべきである。</p>
荒井委員	<p>新規に司書採用を行うとあるが、小金井市の人事でどの位可能性があるか。現状を知り少しでも実現の可能性のあるようにした方がいいと思う。市の意図は民間活力を導入して、職員定数削減だと思うので、それを踏まえ理想案を出すか、妥協案を出すかの方法がある。</p>
矢崎会長	<p>現時点では図書館に人事の権限はないので、答申に書いても実現可能は低いと思う。理想案を出すか妥協案を出すかは非常に難しいところだと思うのでそこも議論していただければと思う。私としては妥協することも必要かと思う。</p>
野垣委員	<p>新たに司書職制度を入れていくという書き方がいいかと思う。なぜなら、ベテラン職員の方が人件費は高いわけで新卒を入れれば議会で指摘されているような人件費の高さは問題になりにくいと思う。</p>
矢崎会長	<p>人件費はどのように算出しているのか。図書館の人件費はたまたま高いのか。</p>
田中館長	<p>議会に出しているのは、現図書館の人件費でベテラン職員が多い現在、他の職場と比べると高い状況。ただ、職員の給料は同じなので図書館職員が特別高いということはない。また人件費の試算の仕方として、1人920万というのがある。異動が起こった場合比較ができないので、その基準値で図書館の人件費として対費用効果は算出する。</p>
矢崎会長	<p>金額ではなく人数になるわけですね。</p> <p>現在司書職制度を採用していないので、異動を絶えずしており職員によってはモチベーションも上がらない人もいると思う。図書館職員は長い経験はそれだけで力になるので、短期間で異動させるのではな</p>

荒井委員	<p>く、ある程度経験を積んで欲しい。ただ、図書館に活かせるような異動の仕方が望ましい。また、図書館長は司書の方が好ましく、例え違ってても図書館経験者が望ましい。以上のことを盛り込みたい。</p>
野垣委員	<p>異動制度は人件費削減とは別の話だと思うので、長い間固定することで司書の数は少なくても済み、財政的に効率がよいということを前面に出すことはいい戦略である。</p>
田中館長	<p>司書職制度を確立することと、退職される司書職の分は司書で補充することの2本立てにすればいい。</p>
矢崎会長	<p>職員体制の考え方だが、仮に一部委託になった場合奉仕係の正規職員については司書資格を有する専門的職員と位置づける。異動したとしても原則図書館業務を専門とする。図書館長については、専門的職員からの任用を原則としたい。新館については規模に応じて編成するという考え方でまとめている。</p> <p>現在議論されている直営のままでの司書職制度の確立は甚だ困難である。開館して30数年当初司書職採用された職員以降、司書職の採用はない。そのため、確立するためには残った少ない職員は専門職でなければ難しい等の理屈付けをする必要がある。</p>
田中館長	<p>答申には司書職制度を確立することが望ましいというような書き方にして市に考えてもらうような形でどうか。</p>
矢崎会長	<p>問題はない。</p> <p>ただ、何かをやるから何かこうする、これをすればこういうことができる、というような形でないと難しい。このたたき台の考え方だと、正規職員を減らして非常勤職員を増やすとしているが、それが本当に望ましいことかどうかも議論されなければならない。</p>
兼森委員	<p>私も望ましいことだとは思っていない。ただ人数を確保するためにはそれもやむを得ないと思う。先ほどの1人920万だと正規職員1人の賃金で非常勤職員3、4人雇える計算になる。</p> <p>私の大学でも正規職員を減らすように命令が来ている。減らすなら非常勤職員を増やしてという要望にならざるを得ないが、小金井市立図書館は現段階でそこまで減らせとはいってないようなので、そこで図書館協議会自ら率先して正規職員を減らして非常勤職員を増やせというのは問題かなと思う。</p>
兼森委員	<p>ただ、今この議論があるのは開館時間の拡大が議会全員賛成によりきているわけで、図書館からはそうであれば現体制では難しいので一部委託という提案だと思う。そこで協議会としては委託した方が時間は拡大されても継続性を求める図書館において不安定になり、サービスの低下に繋がるということだと思う。そうならないためには、非常勤職員を増やすしかないのではと思う。委託を回避するには正規職員も12時～20時のような変則勤務を受け入れるのかどうかだ。また、現在カウンターに必ず正規職員が入るというのを、サポート体制を整えれば緩和</p>

<p>田中館長</p>	<p>できるのでは。非常勤職員も多くが市民であるので、運営に対して一生懸命やってくれると信じている。</p> <p>変則勤務にした場合、土日は交代勤務なので4人しかいない。土日を変則勤務にした場合かなり高い頻度で変則勤務になり負担になるのかなと思う。また、職員がカウンターに入らない提案だが、市民から見たときに正規職員が目に見えず、正規職員はいらないという図式になる。そうすると、指定管理という危険性を孕んでいるのではと思う。</p>
<p>山口委員</p>	<p>その理論が成り立つなら委託にしても、正規職員がいなくなり全て民間に任せればいいという議論になる。仮にカウンターが全て非常勤職員だったとしても、それは図書館長や正規職員の監督の下に柔軟に対応ができる。しかし、委託をした場合には法律の関係上そういう関係にはなれない。図書館において直接利用者にサービスする部分と判断する部分は密接に関わっておりこれが直営のメリットである。</p> <p>ただ、それが現在の小金井市立図書館の直営がいいかどうかは別問題である。この諮問に対して現運営体制について踏み込まなければならない。市で責任をもってするサービスがこういうやり方でこういう方式でやれば必ず良くなっていくということを提示しなければいけないと思う。それでも、もし委託の方がいいという話になれば、一部分を残すことを含めてやらない方がよく、完全撤退すればよいと思う。現状を追認するのではなく、司書職を補充して、非常勤職員を含めて研修体制を整えたり、インセンティブを与えたり、民間のノウハウとは利用者の要求に応じていくことなので、取り入れていく仕組みを確立していくべきだと思う。形式的に非常勤職員を増やし正規職員がいなくなったらという議論だと、委託でもその指摘はされるわけで、そうではない理屈を立てる必要がある。司書職を配置するという考えがあるのなら、委託すればできるというのではなく、現段階で行うべきことであると思う。それをやりながら、職員や、人件費を減らさなければならないならば、もっと柔軟に対応する方法はあるのではと思うので図書館でも考えた方がいいのではと思う。</p>
<p>田中館長</p>	<p>山口委員の指摘は、正規職員+非常勤職員と、正規職員+委託の違いだと思う。この違いというのは委託した場合責任者がおり、責任の所在が明確になるので、責任の取り方がはっきりする。しかし、非常勤職員だと一律同賃金同責任であるので責任の所在について判断できない。</p>
<p>矢崎会長</p>	<p>委託の場合決められたマニュアル通りのことしかできず、判断ができないというのが問題である。しかし、図書館ではマニュアル以外の事が絶えず起こる。非常勤職員でも研修を受けてもらい、市の職員だということを感じてもらえればある程度判断できると思う。そこが、決定的な違いだと思う。</p>
<p>山口委員</p>	<p>そういう点では指揮命令できるので、まだ派遣の方がいいと思う。</p>

<p>矢崎会長</p>	<p>労働基準法の観点からいくと、雇用が難しい場合や専門的技能が必要な場合に一時的に派遣を選ぶ。しかし、派遣は高く、2年という制限がある。少し長めに恒常的に雇おうとすると委託になる。小泉首相の政策だが委託は安易な発想で、進めるべき方法ではなかった。</p> <p>館長の考えは窓口委託という一部委託である程度妥協して、根幹部分は勝ち取ろうという考えだと思う。管理職の立場としてはそういう方法をとりがちだが、直営での方法をもう少し考えた方がいいと思う。</p>
<p>田中館長</p>	<p>直営の場合は、現行の人件費で運営することが基本的な考え方である。現在、夜間は時間外で対応しているが、さらに拡大となると難しいため、ズレ勤をお願いすることになる。職員にはズレ勤の負担が増え職員の頑張りによって運営することになる。さらに、朝は9時からを提案しているが、カウンターを維持することに労力を取られ疲弊し、根幹部分が疎かになってしまうことを懸念している。そして時間延長もさらにあると思うので、その時には限界に達してしまうと思う。そこで、現在専門的職員制度ではないので、これを機会に導入し、新館建設にも図書館職員を携わせる布石としたいと思う。矢崎会長や山口委員のやり方だと、将来また同じような議論になる。そして、新館は指定管理やPFIになりかねない。そうならないためにも今回の提案で担保を取った方がいいのではと思う。</p>
<p>矢崎会長</p>	<p>譲るところは譲るとするのが館長の考えだが、何とか知恵を絞って直営の方法を考えていきたい。開館延長の要望は黙っていればきりがなく、その中で質も保っていかなければならない。市民や利用者に明確な説明ができれば、サービスの限界に納得してもらえらると思う。</p>
<p>兼森委員</p>	<p>5 に開館時間の拡大については、費用対効果及び市民の利用度を考慮し、とあるが市民にとって適切な時間を検討する必要がある。現在の立地・内容で、午後9時まで開いて来館するだろうかという疑問がある。駅前図書館であれば話は別だが、開館すれば経費がかかるわけで、朝9時は開館を待っている方がいるから分かるが、午後9時までが本当なのかをしっかりと調査研究する必要がある。</p> <p>また、開館延長を絶対とするならば、人件費はそのままでというのは元々無理があるのではないか。それでも断行するならば、人件費の単価を下げるのが目的である。安上がりな人件費で時間だけ拡大して、質はどうあれ運営していくという議論が本当に正しいのかは怪しい。時間延長すれば人件費、光熱水費がかかるのは当然。議会では夢のような話をしているのではないか。</p>
<p>田中館長</p>	<p>図書館への開館時間の延長の要望は多い。私自身開館している方がいいと思う。ただ確かに午後9時が妥当かどうかは検討の余地がある。都内にお勤めの方が帰ってきて、来れる時間を想定している。</p> <p>人件費の問題については、最近の過去数年間で西之台会館図書室、移動図書館、夜間開館拡大と、正規職員を減員して、非常勤職</p>



<p>矢崎会長 田中館長</p>	<p>員で対応してきており、現在限界に来ている。これ以上正規職員を減らすことはできない。</p> <p>そこで正規職員を削って委託にする案か。</p> <p>現状をみて直営のまま正規職員を減らして非常勤職員を増やすのはこれ以上無理である。責任を持てる委託業者をお願いした方がいいと思う。</p>
<p>荒井委員</p>	<p>委託した方が、非常勤職員で運営するより合理的という数字が出てこないと判断できない。数字が出てきてさらに議論をした方がすっきりするのでは。現在、専門的職員制度の確立の問題点と、正規職員を削減して非常勤職員を増員することの問題点で頭の中が整理しにくい状況である。非常勤職員の雇い止めの問題もある。</p>
<p>矢崎会長 兼森委員</p>	<p>非常勤職員は最長5年で、再受験は可能である。</p> <p>委託の契約期間はどれくらいか。学校補助員の委託もTRCで3年である。今度また継続されたようだが、決まるまでは4月から継続されるかどうかはドキドキハラハラものだそうだ。</p>
<p>田中館長 矢崎会長</p>	<p>3～5年である。</p> <p>数字が出れば一番いいと思うが、委託の私の印象だと職員を絞りに絞っているという印象。1人2,000円で見積は出すが、実際の賃金は800円。3年経って競争入札する際は、今働いている職員の賃金を下げて新しい会社に就職するというのを繰り返している。お金だけを考えればいいが、士気は上がらないと思う。</p>
<p>荒井委員</p>	<p>委託の方が、総額が低く、何年雇用で、賃金はこれくらいだがいいとはっきり分かれば、単純に総額だけ見るより議論しやすいと思う。</p>
<p>矢崎会長</p>	<p>その数字を出すのは難しいと思う。</p> <p>現在、司書職の採用はないので委託業者の職員になるしかない状況である。優秀な司書が委託業者で働いている。今だけを見れば場合によっては正規職員より優秀な職員がいる可能性はある。しかし、そんなことがいつまでも続くわけがない。非常勤職員から正規職員に上がれるシステム等を提言できればと思う。</p>
<p>兼森委員</p>	<p>職場の雰囲気慣れるには一朝一夕にはいかない。業者が代わって4月1日からしっかり運営できるかといったら不可能であると思う。</p>
<p>荒井委員</p>	<p>委託業者は中間マージンを取るわけでそこが分かれば、同じ費用払うなら非常勤職員の方がいいと言えるし、また、委託業者の方が責任問題で合理的だとクローズアップされれば分かりやすいと思う。</p>
<p>矢崎会長</p>	<p>そこを数字で明確に出すのは難しい。図書館は開いてればいいと思っている人が多いのも事実である。そのため、図書館は攻めの姿勢を取り、こういうサービスをやっていると宣伝するべきである。レファレンスの意味を知る市民は少ない。もっと図書館が市民の身近な存在にならなければならない、そのために正規の司書の職員が必要だと思う。</p> <p>以上のようなことでこの議題は終わりたいが、実際働いている職員か</p>

田中館長	<p>ら意見をもらう機会が欲しいが。</p> <p>月 1 回係長職 5 人で職員検討会議を設けており、次回は 4 月 9 日(木)8:30~2 時間程を予定しているのでそこにお越しただけたらと思う。</p>
矢崎会長	<p>では、参加できる方が参加して、非常勤職員の方にはまた別の機会です話を聞く機会を設けたいと思う。</p> <p>次回の協議会は 5 月 14 日(木)15 時~から行いたいと思います。</p> <p>(矢崎会長 退席)</p>
兼森委員	<p>では議題(2)第2次小金井市子ども読書活動推進計画(素案)についてです。事務局より説明を。</p>
田中館長	<p>(資料説明)</p>
兼森委員	<p>作成に関して、関係団体からヒアリングは行っているのか。また、パブリックコメントは？</p>
田中館長	<p>両方行っている。パブリックコメントは 4 月 15 日までである。</p> <p>P3に「不読者率の減少」とあるが小金井市の前後の比較が分かるようにならないか。</p>
田中館長	<p>前回と今回で調査及び調査方法が異なるので比較することができない。分かりやすい資料があったら載せたいと思う。</p>
兼森委員	<p>P5に「わくわくおはなしワールド」の件を載せて頂き嬉しく思う。市民団体と職員の協働連携を取り上げて頂き、今後の図書館との協働についての方向性を打ち出していると考えてよろしいか。</p>
田中館長	<p>はい。</p>
君川委員	<p>P8の学校図書館と公立図書館との強力な連携に、「図書館と学校図書館との人的交流」とあるが、具体的には何か。学校図書館の司書教諭は業者の方がお願いはできるのか。</p>
田中館長	<p>図書館職員と学校図書館の司書教諭やボランティアの方々との交流のことである。お願いではなく、何かお手伝いできることはないか検討していく話し合い場である。</p>
兼森委員	<p>人的交流だと異動のイメージがあって誤解を招く可能性がある。</p>
田中館長	<p>言葉の整理をしたい。</p>
君川委員	<p>別館を学校図書館員の方が会議で使う際、会社名が入っていて使えないようだが。会社名を取ると会社で認められないようだ。そのようにその他にも様々な制約があるが。</p>
兼森委員	<p>図書館として学校図書館の委託会社として考慮できないものか。</p>
田中館長	<p>会社名が入っていると特定の民間企業に便宜を図っているとされるので、取ってもらわないと図書館としては認めにくいですが検討したい。そ</p>

君川委員	<p>のような様々な制約の中で何ができるか探っていく機会としたい。</p> <p>P9 に「人材の確保と育成で司書教諭及び学校図書館補助員のより充実した配置」とあるが、人数か日数か。</p>
田中館長	<p>日数、人数、及び内容を含んだものである。内容はもっと効果的に活動していただけるように図るということである。</p>
山口委員	<p>P9の「今後の取り組みについて、庁内検討委員会で進捗状況を点検」とあるが、そこをもっと広く市民、図書館協議会にも聞くべきである。</p>
田中館長 兼森委員	<p>市民団体にも意見をいただいているので入れるよう検討したい。</p> <p>P11 に「ホームページ等を通じ読書案内」とあるが、市民団体が行う活動の案内は載るのか。他施設では載っているところもあるが。</p>
三田村主事	<p>ホームページに市のマップを作り、各団体の了承を得て載せられればと思う。ただ、個人情報の問題もあるので慎重に検討したい。</p>
兼森委員	<p>学校図書館との強力な連携は素晴らしいことである。学校は余裕がない状態なので公立図書館が支援していただけたらと思う。</p>
田中館長	<p>蔵書構成のアドバイス等何か支援ができればいいと思うが、そこは話し合いの場で交流研究していきたい。</p>
浦野委員	<p>P12「学校・学校図書館の学校図書館の整備」で修理とあるが、具体的には。</p>
三田村主事	<p>図書館には修理について蓄積されたノウハウがあるので、図書ボランティア、図書館補助員の方々にお教えできればと思う。また、先生が異動しても大丈夫なように、学校図書館への公共図書館への支援マニュアルのようなものを作成して、修理の仕方、蔵書構成のアドバイス等々できたらと思う。</p>
兼森委員	<p>今の三田村さんの言葉を素案に挿入できないか。今の文章だと抽象的で分かりづらく、公立図書館が主体ということも分かりづらいと思うので。</p>
田中館長	<p>各所に連携という言葉が出ているのでくどいと思われるが、ご意見として検討させていただく。また、話し合いの場で具体的な話を詰めていきたいと考えている。</p>
兼森委員	<p>P13「学校図書館補助員の配置の活用を図り」は、先ほどの連携と同じ内容か。</p>
田中館長	<p>指導室の話だと補助員さんの間で業務範囲の認識に乖離があり、十分にその能力を活かしきれていないため、そこを改善したいとのことである。指導する先生の指導の仕方に差があることが原因だと思う。</p>
兼森委員	<p>補助員の方は職員室に席がなく、先生と交流する機会がなく、直接図書室を行き来するだけとのことである。公立図書館が支援して補助員さんが希望を持てるような文言を入れられたらと思う。</p>
田中館長	<p>指導室の担当なのでなかなか回答し難いところではあるが、そうできるよう働きかけていきたい。</p>

野垣委員 田中館長	ブックスタート後の施策が抜けていると思う。 確かにそうであるので健康課にその旨伝えておく。ただし各課予算やスペースに限りがあり積極的な回答ができないことをご理解頂きたい。
野垣委員	全体的な事だが子どもにさせるというスタンスがよくないと思う。小金井の場合のびゆく子どもプランでも子どもが育つというスタンスでつくっている。
田中館長	図書館のスタンスとして子どもの読書環境を整えるというスタンスで作成している。
兼森委員 田中館長	以上で終わるがその他報告事項で何かありますか。 平成21年第1回市議会定例会の図書館に関して一般質問があった。
	朝の開館時間がなぜ早まらないかという質問に対し、教育長が現在図書館協議会に諮問中であり、答申によって案が示されるだろうと答弁した。その他に、小金井市子ども読書活動推進計画の状況、国分寺図書館との連携、図書館の駐車スペース、分室に基本図書がないのでは、別館について利用状況について質問があった。
	また、人事異動があるのでご報告したい。 定年退職で本館三田村主事、東分室小谷主事、普通退職で安居庶務係長です。
安居係長	2年間という短い間でしたが大変お世話になりました。後任も私同様よろしく申し上げます。
三田村主事	平成14年度から緑分室に配属されこれからの図書館ということで市民との協働でおはなし会を始めました。その結果が子ども読書活動推進計画に繋がっていると思います。私はこれで退任しますが、優秀な後任がおりますので引き続きご協力をお願いします。私は再任用で第2庁舎におりますので何かありましたらよろしくお願いします。
田中館長 藤木主事	三田村の後任は藤木が務めます。 本館児童担当の藤木です。しっかりと引き継いでいきたいと思いますのでご指導よろしくお願いします。
田中館長	以上です。
兼森委員	以上で平成20年度第6回図書館協議会を終わりにします。